

第1学年 数学科 学習課題(1章 ^{せい すう}正の数, ^{ふ すう}負の数) 減法 ver.

【eboard 加法と減法 5～8】

1年 _____ 組 _____ 番 氏名 _____

みなさん、前回の課題では、「加法」の学習お疲れ様でした！今回の課題は正の数、負の数の「減法」です。前回、学習した「加法」が基本となりますので、復習しながら進んでいきましょう。教科書も参考にしながら、「減法」をマスターしていきましょう。後半は「加法」と「減法」の混じった問題もありますので、チャレンジしていきましょう！！

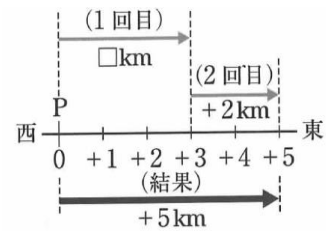
◆減法（教科書 P.26、27）

1回目の移動を□km とすると、2回の移動とその結果は、次の加法で表すことができる。

$$\square + (+2) = +5$$

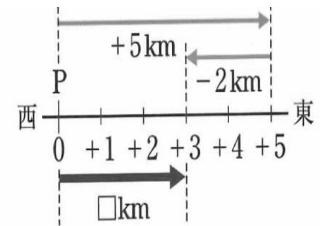
上の式の□に当てはまる数は、次の引き算で求めることができる。

$$\square = (+5) - (+2) \quad \dots \textcircled{1}$$



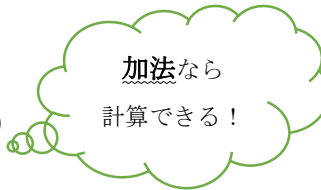
また、右の図から□は、P から +5 km 移動して、そこから -2 km 移動した結果ともみることができるから、□は次のように表せる。

$$\square = (+5) + (-2) \quad \dots \textcircled{2}$$



①、②の式より、

$$\begin{aligned} (+5) - (+2) &= (+5) + (-2) \\ &= +3 \end{aligned}$$



point

減法は、ひく数の符号を変えて、 $(+5) - (+2) = (+5) + (-2) = +3$
加法に直してから計算する。

$$(+ 5) - (- 2) = (+ 5) + (+ 2) = + 7$$

引き算のことを といい、その結果のことを という。

例1 次の計算をなさい。□ をうめて計算しましょう。(教科書 P.28)

(1) $(+6) - (+8)$

$= (+6) + (\square)$

$= \square$

ひく数の符号を変えて、
加法に直す

(2) $(-9) - (+4)$

$= (-9) + (\square)$

$= \square$

(3) $(+1) - (-9)$

$= \square$

$= \square$

(4) $(-13) - (-15)$

$= \square$

$= \square$

問1 次の計算をなさい。

(1) $(+7) - (+9)$

(2) $(-3) - (+7)$

(3) $(+5) - (-6)$

(4) $(-3) - (-8)$

(5) $(+15) - (+23)$

(6) $(-11) - (+9)$

(7) $(+1) - (-16)$

(8) $(-20) - (-8)$

(1)		(2)		(3)		(4)	
(5)		(6)		(7)		(8)	

(1)(2)の違いに注意!!

問2 次の計算をなさい。

(1) $(+5) - 0$

(2) $0 - (+5)$

(1)		(2)	
-----	--	-----	--

問3 2つの整数の差が次の数になる減法の式をつくりなさい。

(1) -5

(2) $+7$

(3) 0

(1)		(2)		(3)	
-----	--	-----	--	-----	--

◆加法と減法の混じった計算（教科書 P.29）

Q. 次の式を加法の式に直して計算してみましょう。

$$\begin{aligned}
 & (+4) + (-3) - (+5) \\
 = & (+4) + (-3) + (\quad) \\
 = & \quad
 \end{aligned}$$

減法の式をすべて加法の式に直す
加法だけの式に直して計算する

例1 $(+8) + (-6) - (-7) - (+5)$ を加法だけの式に直して計算しなさい

$$\begin{aligned}
 & (+8) + (-6) - (-7) - (+5) \\
 = & (+8) + (-6) + (\quad) + (\quad) \\
 = & \quad + \quad \\
 = & \quad + \quad \\
 = & \quad
 \end{aligned}$$

減法の式をすべて加法の式に直す

同符号の数を集める

(+プラスどうし、-マイナスどうし)

同符号の数の和を求める

(+プラスどうし、-マイナスどうしを計算)

問 次の式を、加法だけの式に直して計算をしなさい。(途中式もかきましよう)

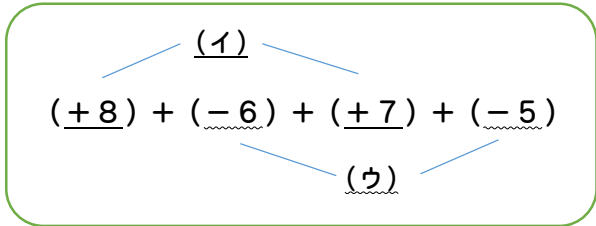
(1) $(-4) - (+9) + (-6)$

(2) $(-7) - (-2) - (+5)$

(3) $(+7) - (+4) + (-5) - (-8)$

(4) $(+3) - (+4) - (-5) + (-6)$


加法だけの式のそれぞれの数を、その式の (ア) という。
 とくに、正の数の (ア) を (イ)、
 負の数の (ア) を (ウ) という。





(ア)		(イ)		(ウ)	
-----	--	-----	--	-----	--

◆項を並べた式の計算 (教科書 P.30,31)

加法だけの式では、加法の記号+とカッコを省き、項を並べた式で表すことができる。
また、式のはじめの項が正の数であれば、その数の符号+を省いて表す。

$(+8) + (-6) + (+7) + (-5)$
 省略して表すと...
 $8 - 6 + 7 - 5$

問1 次の式を、加法だけの式に直してから、項を並べた式で表しなさい。

(1) $(-6) - (+3)$
 $= (\text{ }) + (\text{ })$  加法だけの式
 $= \text{ }$  省略して表す

(2) $(+4) - (+9) + (-2)$
 $= \text{ }$
 $= \text{ }$

例2 次の式を、項を並べた式とみて計算しなさい。


(1) $5 - 7$	(2) $-5 - 7$	(3) $-5 + 7$	(4) $5 + 7$
$= (+5) + (-7)$	$= (-5) + (-7)$	$= (-5) + (+7)$	$= (+5) + (+7)$
$= \text{ }$	$= \text{ }$	$= \text{ }$	$= \text{ }$

問 次の式を、項を並べた式とみて計算しなさい。

(1) $3 - 9$ (2) $-8 - 1$ (3) $-16 + 6$ (4) $11 + 19$

(1)		(2)	
-----	--	-----	--

例3 $-6 + 9 - 5 + 10$ を、項を並べた式とみて計算しなさい。

$-6 + 9 - 5 + 10 = -6 - 5 + 9 + 10$
 $= \text{ } + \text{ }$  同符号をまとめて計算
 $= \text{ }$

問 次の計算をしなさい。

(1) $-8 + 3 + 1$ (2) $-4 - 5 - 9$ (3) $5 - 7 + 10 + 8$

(1)		(2)	
-----	--	-----	--

例4 $5 - (-8) + (-3)$ を、項を並べた式で表して計算しなさい。

$$5 - (-8) + (-3) = 5 + 8 - 3$$

$$= \boxed{}$$

$$= \boxed{}$$



同符号をまとめて計算

問 次の計算をしなさい。

(1) $7 - (-11) + (-5)$

(2) $-4 + (-7) - 8$

(3) $20 - (-4) - 6 + (-9)$

(4) $-25 - (-9) - (-7) - 10$

(1)		(2)		(3)		(4)	
-----	--	-----	--	-----	--	-----	--

◆ 小数や分数をふくむ式の計算 (教科書 P.31,32)

例 次の計算をしなさい。

(1) $0.5 - 1.7$

$$= \boxed{}$$

(2) $\frac{1}{2} - \frac{3}{5} = \frac{5}{10} - \frac{6}{10}$

$$= \boxed{}$$

通分して計算!!

分母2と5の最小公倍数10

問 次の計算をしなさい。

(1) $0.9 - 1.3$

(2) $\frac{2}{7} - \frac{8}{7}$

(3) $\left(+\frac{1}{4}\right) + \left(-\frac{1}{3}\right)$

(4) $0.6 - \left(-\frac{2}{5}\right)$

(1)		(2)		(3)		(4)	
-----	--	-----	--	-----	--	-----	--

教科書を見て、チャレンジしてみよう!!

基本のたしかめ(教科書 P33)

1

(1)		(2)		(3)	
(4)		(5)		(6)	

2

(1)		(2)		(3)	
(4)		(5)		(6)	

3

(1)		(2)		(3)		(4)	
(5)		(6)		(7)		(8)	

<魔法陣> チャレンジコーナー

正方形のます目に異なる数を1つずつ入れて、縦、横、斜めに並んだ数の和をどれも同じにする魔法陣まほうじんという遊びがあります。

次の㉠～㉠に適切な数をうめて、下の魔法陣を完成させましょう。

-1	㉠	+1
㉡	+2	㉢
+3	㉣	㉤

+6	-7	㉥	+3
㉦	0	㉧	㉨
㉩	㉪	-3	+2
-6	+5	㉫	-9

(ア)		(イ)		(ウ)		(エ)	
(オ)		(カ)		(キ)		(ク)	
(ケ)		(コ)		(サ)		(シ)	